

大学番号：013

注3

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

山形大学 農学部 食料生命環境学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山形大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部企画課
職名・氏名	カチョウ 課長 ・ キク 菊 ち 地 アキラ 朗
電話番号	023-628-4190
(夜間)	023-628-4190
F A X	023-628-4849
e-mail	kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	40
4	既設大学等の状況	41
5	教員組織の状況	43
6	留意事項に対する履行状況等	45
7	その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山形大学

(2) 大学名

山形大学

(3) 大学の位置

山形大学農学部
〒997-8555
山形県鶴岡市若葉町1番23号

(山形大学本部
〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 ※該当なし

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)
平成25年度に報告する内容 → (25)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 食料生命環境学科 学士(農学)	4年	155人	— 年次人	620人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	155 (—) [若干人]	—	155 (—) [若干人]	—	155 (若干人) [若干人]	—	155 (若干人) [若干人]	—	1.05倍	3年次編入学
志願者数	488 (—) [19]	— (—) [—]	589 (—) [17]	— (—) [—]	525 (12) [13]	— (—) [—]	530 (11) [13]	— (—) [—]		
受験者数	482 (—) [19]	— (—) [—]	581 (—) [17]	— (—) [—]	518 (12) [13]	— (—) [—]	520 (10) [13]	— (—) [—]		
合格者数	183 (—) [5]	— (—) [—]	188 (—) [5]	— (—) [—]	184 (5) [4]	— (—) [—]	186 (3) [5]	— (—) [—]		
B 入学者数	166 (—) [2]	— (—) [—]	161 (—) [2]	— (—) [—]	165 (3) [0]	— (—) [—]	163 (3) [3]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.03		1.06		1.05			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 166	[-] -	[2] 161	[-] -	[0] 165	[-] -	[3] 163	[-] -	
2年次	/		[2] 165	[-] -	[2] 161	[-] -	[0] 163	[-] -	
3年次			/		/		[2] 168	[-] -	[2] 163
4年次	/						/		[2] 168
計			[2] 166		[4] 326				[4] 494

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	166 人	1 人	平成22年度	1 人	人	他の教育機関への入学(1)	0.6 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	161 人	1 人	平成23年度	人	人	その他(1)	0.6 %
			平成24年度	1 人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	165 人	2 人	平成24年度	2 人	人	他の教育機関への入学(1), 再受験(1)	1.2 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	163 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0 %
合 計	655 人	4 人					0.6 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 安全農産物生産学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	農学入門	1前		2		2	1					教育内容充実のため教員追加(22)
	農学最前線	1前		2		1	2	1				兼15 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		5	2					兼3 オムニバス
	安全農産物生産学概論	1後	2			6	5	6				教育上支障がないため教員数変更(22) オムニバス
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			8	4					人事異動のため(24) オムニバス
	食品・応用生命科学概論	1後	2			9	5	6				教育内容充実のため教員追加(22)
	植物機能開発学概論	1後	2			5	7	2				兼1 オムニバス
	森林科学概論	1後	2			7	5	5				人事異動のため(24) 教育上支障がないため教員数変更(22)
	水土環境科学概論	1後	2			5	6	6				オムニバス
	基礎農学セミナー	1後	2			4	4					人事異動のため(24) オムニバス
	基礎農学実習	1集中	2			5	3		1			人事異動のため(24) オムニバス
	専門科目	食料生命環境学実験実習	2前		2		6					
遺伝学		2前		2			1					
基礎土壌学		2前		2		2	1					
基礎生態学		2前		2		2	3	1				人事異動のため(25)
情報処理演習Ⅰ		2後		2		1						
キャリア形成論		2集中	1									教育内容充実・見直しのため配当年次及び単位数変更、教員追加(22)
農家体験実習		1集中	2			6						兼1
雪山実習		1集中	2			9	6					兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)
環境保全型エコ農業論		2集中	2									兼3
教育方法・技術		2集中	2									兼1 教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)
学外実習(インターンシップⅠ)		3集中	1			6						教育内容充実のため科目名・単位数・教員配置を変更(24)
学外実習(インターンシップⅡ)		3集中	1			6						
インターンシップ(学外実習)		3集中	2			4						
山形フィールド科学Ⅰ		1-2-3-4集中	2			3						教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)
山形フィールド科学Ⅱ		1-2-3-4集中	2			3						教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)
国際理解(海外研修)		1-2-3-4集中	2			1						
公開森林実習	1-2-3-4集中	1									教育内容充実のため科目追加(22)	
国際農業経済論	2後										教育内容を見直し配当年次変更(24)	
	3後		2		1						教育内容充実のため科目追加(23)	

	Insensive Scientific Communication Courses in English	1・2・3・4集中		1		1						教育内容充実のため科目追加(23) 人事異動のため(25) 人事異動のため(24) 人事異動のため(23) 人事異動のため(22)		
	卒業論文	4通	10			32	23				6			
コース必修科目	安全農畜産物生産論 ☆	2前	2			2	1							
	環境農学論 ☆	2前	2			3								
	生物統計学 ☆	2前	2				1							
	畜産学 ☆	2前	2			1	1							
	環境保全型農業栽培学 ☆	2前	2			2								
	野外科学	2前	1			9	6							
	フィールドサイエンス実験実習ⅠA	2前	2			9	6							
	フィールドサイエンス実験実習ⅠB	2前	2			9	6							
	英書講読演習Ⅰ													
	外国書講読演習Ⅰ	2前	2			9	6					教育内容見直しのため科目名称変更(23)		
	基礎植物学 ☆	2後	2			1	1							
	食農環境経営学 ☆	2後	2				1							
	水田作物学 ☆	2後	2			1		1				兼1 人事異動のため(25)		
	植物病理学 ☆	2後	2			+								
	基礎園芸学	2後	2			2	1							
	安全農産物生産学基礎実験	2後	2			9	6							
	英書講読演習Ⅱ													
	外国書講読演習Ⅱ	2後	2			9	6						教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	安全農産物生産学研究調査演習Ⅰ	3前	2			9	6						誤記のため訂正	
	安全農産物生産学コース実験実習	3前	2			9	6							
	フィールドサイエンス実験実習Ⅱ	3前	2			9	6							
	情報処理演習Ⅱ	3前	2			9	6							
	応用昆虫学 ☆	2後	2			1	1							
安全農産物生産学実験実習	3後	2			9	6								
安全農産物生産学研究準備演習	3後	2			9	6								
安全農産物生産学研究演習Ⅰ	4前	2			9	6								
安全農産物生産学研究演習Ⅱ	4後	2			9	6								
専門科目	コース選択科目	安全農産物生産機械学 ☆	2後		2		1							
		基礎植物栄養学 ☆	2後		2		1	1						
		農産物品質学 ☆	2後		2		1							
		植物育種学 ☆	2後		2		1							
		動物生理学												
		家畜生理学	2後		2		1	1						
		食農環境経済学 ☆	3前		2		1							
		ポストハーベスト学 ☆	3前		2		1							
		地球環境論 ☆	3前		2		1							
		生物環境物理学 ☆	3前		2					1				
		在来植物資源学 ☆	3前		2				1					
		地域活性化論 ☆	3前		2		1	2						
		植物感染病学 ☆	3前		2				1					
		食農環境政策学 ☆	3前		2								兼1	
		食農環境システム論 ☆	3前		2								兼1	
		農産物生理学 ☆	3前		2			1						
		環境保全型栽培培土壌学	3前		2			1	1					
家畜管理学	3前		2								兼1			
畑作物学 ☆	3後		2			2								
総合昆虫管理学	3後		2			1								
家畜安全飼養学	3後		2			1	1							

実用英語	3後	2	9	6	教育上支障がないためコース選択から削除(23)
フィールド調査法	3前 3後	2	1 0		教育内容見直しのため配当学期変更(25) 人事異動のため(25)
総合植物病害防除論	3後	2	1	1	
花卉園芸学	3後	2		1	
安全農産物生産学特講-I	3後	2	9	6	
果樹園芸学	3後	2	1		
科学リテラシー演習	3後	2	9	6	
野菜園芸・施設学	3後	2	1	1	
安全農産物生産学特講-II	4前	2	9	6	
	3前 3後				教育内容見直しのため配当学期変更(25)
国際フィールド協力論 ☆	2集中	2			兼1 教育内容見直しのため配当年次変更(24)
家畜育種学	3集中	2			教育上支障がないためコース選択から削除(23)
畜産物利用学	3集中	2			教育上支障がないためコース選択から削除(23)

☆印の科目は、他のコースと連携協力して開講する科目

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2									
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2									
		人間を考える	1前・後	2									
	文化と社会	哲学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)
		地域科学											
		倫理学	1前・後		2								
		芸術学	1前・後		2								
		文学	1前・後		2								
		言語学	1前・後		2								
		歴史学	1前・後		2								
		地理学	1前・後		2								
		文化論	1前・後		2								
		法学	1前・後		2								
		日本国憲法	1前・後		2								
		政治学	1前・後		2								
		経済学	1前・後		2								
		社会学	1前・後		2								
	心理学	1前・後		2									
	教育学	1前・後		2								教育上支障がないため教養科目から削除(23)	
	教養セミナー	1前・後		2									
自然と科学	数理科学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	物理学	1前・後		2									
	化学	1前・後		2									
	生物科学												
	生命科学	1前・後		2									
	地球環境学	1前・後		2									
	科学技術論	1前・後		2									教育上支障がないため教養科目から削除(23)
	教養セミナー	1前・後		2									
応用と学際	応用(応用科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	応用科学	1前・後		2									
	応用(情報科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	情報科学	1前・後		2									
	応用(生活科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	生活科学	1前・後		2									
	学際(他文化交流)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	多文化交流	1前・後		2									
	学際(芸術実技)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	芸術実技	1前・後		2									
	キャリア形成論	1前・後		2								教育上支障がないため教養科目から削除(23)	
	学際(学際・総合)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
学際・総合	1前・後		2										
教養セミナー	1前・後		2										
山形に学ぶ	地域学											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	山形に学ぶ	1前・後		2									
	教養セミナー	1前・後		2								教育内容充実のため科目追加(23)	
コミュニケーション・スキル1	英語C	1前・後	2										
	英語R	1前・後	2										
コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後		2									

(3) 未開講科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
4	実用英語	2	3後	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（学科共通科目として開講のInsensive Scientific Communication Courses in Englishにて同等の教育効果を得ることができる）。
5	家畜育種学	2	3集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが植物機能開発学コースの育種系科目の受講することで同様の教育効果を得ることができる）。
6	畜産物利用学	2	3集中	専門	選択	教育内容見直しのため（当コースの畜産系専門科目で同様の教育効果を得ることができる）。
7	教育学	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
8	科学技術論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
9	キャリア形成論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。
 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.02 0.07
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 食農環境マネジメント学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	農学入門	1前		2		2	1					兼15 兼3 兼1
	農学最前線	1前		2		1	1				教育内容充実のため教員追加(22) 教育上支障がないため教員数変更(22) 兼3 15 オムニバス	
	食料生命環境学概論	1前		2		5	1				教育上支障がないため教員数変更(22) オムニバス	
	安全農産物生産学概論	1後	2			8					人事異動のため(24) オムニバス	
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			9	6				教育内容充実のため教員追加(22) オムニバス	
	食品・応用生命科学概論	1後	2			5	2				人事異動のため(24) 教育上支障がないため教員数変更(22) オムニバス	
	植物機能開発学概論	1後	2			7	5				人事異動のため(24) オムニバス	
	森林科学概論	1後	2			5	6		1		人事異動のため(24) オムニバス	
	水土環境科学概論	1後	2			7	3			0	人事異動のため(24) オムニバス	
	基礎農学セミナー	1後	2			6	5			1	人事異動のため(24) オムニバス	
	基礎農学実習	1集中	2			3					オムニバス	
	基礎農学実習	1集中	2			6					教育内容見直しのため科目名称変更(22)	
	専門科目 学科共通科目	食料生命環境学実験実習	2前	2			6					
遺伝学		2前	2	2			1				教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)	
基礎土壌学		2前	2	2		2	1				教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23) 人事異動のため(25)	
基礎生態学		2前	2	2		3	1				教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)	
情報処理演習-I		2後	2			1						
キャリア形成論		2集中 1集中	1 2				6				教育内容充実・見直しのため配当年次及び単位数変更、教員追加(22)	
農家体験実習		1集中		2			9	6				
雪山実習		2集中		1 2							教育内容見直しのため単位数変更(22)	
環境保全型エコ農業論		2集中	2	2							教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)	
教育方法+技術		2集中		2							教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)	
学外実習(インターンシップ-I)		3集中		1			6					
学外実習(インターンシップ-II)		3集中		1			6				教育内容充実のため科目名・単位数・教員配置を変更(24)	
インターンシップ(学外実習)-		3集中		2			1					
山形フィールド科学-I	1-2-3-4集中		2			3				教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)		
山形フィールド科学-II	1-2-3-4集中		2			3				教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)		
国際理解(海外研修)	1-2-3-4集中		2			1						

専 門 科 目	コース必修科目	公開森林実習	1・2・3・4集中	1							教育内容充実のため科目追加(22)	
			2後								教育内容を見直し配当年次変更(24)	
		国際農業経済論	3後	2		1					教育内容充実のため科目追加(23)	
		Insensive Scientific Communication Courses in English	1・2・3・4集中	1		1					教育内容充実のため科目追加(23)	
		卒業論文	4通	10			31	27	7		人事異動のため(25)	
						30	24	-4			人事異動のため(24)	
						32	22	5			人事異動のため(23)	
							23	6			人事異動のため(23)	
		コース必修科目	農村計画学 ☆	2前	2			1				兼1
	安全農畜産物生産論 ☆		2前	2		2	1					
	環境農学論 ☆		2前	2		3						
	地域活性化論 ☆		2前	2		1	2					
	食農環境政策学 ☆		2前	2								
	食農環境経済学 ☆		2前	2		1						
	食農環境マネジメント基礎実習		2前	2		2	2		1			
	食農環境経営学 ☆		2後	2			1					
	環境社会論 ☆		2後	2			1					
	地域・環境問題概論		2後	2					1			
	農村地域の歴史と生活		2後	2			1					
	農村地域の地理と環境		2後	2			1					
データマイニング演習	2後		4			2	2		1			
コミュニティビジネス論 ☆	3前		2				1					
食農環境会計学 ☆	3前		2				1					
地域地理学 ☆	3前	2			1							
食農環境地理学 ☆	3前	2			1							
	コース選択科目	食農環境システム論 ☆	2後								兼1	
		3前	2							教育内容見直しのため配当年次変更(24)		
			3後								兼1	
		3前	2		1					教育内容見直しのため配当期変更(24)		
			3前	2					1		兼1	
		3前	2			2	2		1			
		3前	2			2	2		1			
		4前	4			2	2		1			
	コース選択科目	地球環境論 ☆	2前		2		1				兼1	
		2前		2								
			2前		2		1	1			兼1	
		2後		2		1						
			2前						1		兼1	
		2後		2						教育内容見直しのため配当期変更(24)		
			2後		2			1			兼1	
		2後		2		2	2		1			
			3後		2		1	1			兼1	
		3前										
			3後		2						兼1	
		4前		2		1				教育内容見直しのため配当年次変更(24)		
		2集中		2		1				兼1		
	3後											
		2集中		2						教育内容見直しのため配当年次変更(24)		

☆印の科目は、他のコースと連携協力して開講する科目

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤教育科目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2									
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2									
		人間を考える	1前・後	2									
	文化と社会	哲学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)
		地域科学											
		倫理学	1前・後		2								
		芸術学	1前・後		2								
		文学	1前・後		2								
		言語学	1前・後		2								
		歴史学	1前・後		2								
		地理学	1前・後		2								
		文化論	1前・後		2								
		法学	1前・後		2								
		日本国憲法	1前・後		2								
		政治学	1前・後		2								
		経済学	1前・後		2								
	社会学	1前・後		2									
	心理学	1前・後		2									
	教育学	1前・後		2								教育上支障がないため教養科目から削除(23)	
	教養セミナー	1前・後		2									
自然と科学	数理科学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	物理学	1前・後		2									
	化学	1前・後		2									
	生物科学												
	生命科学	1前・後		2									
	地球環境学	1前・後		2									
	科学技術論	1前・後		2									教育上支障がないため教養科目から削除(23)
教養セミナー	1前・後		2										
応用と学際	応用(応用科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	応用科学	1前・後		2									
	応用(情報科学)												
	情報科学	1前・後		2									
	応用(生活科学)												
	生活科学	1前・後		2									
	学際(他文化交流)												
	多文化交流	1前・後		2									
	学際(芸術実技)												
	芸術実技	1前・後		2									
	キャリア形成論	1前・後		2									教育上支障がないため教養科目から削除(23)
学際(学際・総合)													
学際・総合	1前・後		2										
教養セミナー	1前・後		2										
山形に学ぶ	地域学											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	山形に学ぶ	1前・後		2									
	教養セミナー	1前・後		2								教育内容充実のため科目追加(23)	
コミュニケーション・スキル1	英語C	1前・後	2										
	英語R	1前・後	2										
コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後		2									

(3) 未開講科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
4	教育学	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
5	科学技術論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
6	キャリア形成論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。
 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02 \quad 0.05}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 食品・応用生命科学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	農学入門	1前		2		2	1					教育内容充実のため教員追加(22)
	農学最前線	1前		2		1	2	1				兼15 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		5	6					兼3 オムニバス
	安全農産物生産学概論	1後	2			8	9	6				教育上支障がないため教員数変更(22)
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			5	6					オムニバス
	食品・応用生命科学概論	1後	2			7	5	2				人事異動のため(24)
	植物機能開発学概論	1後	2			4	5	6			1	教育上支障がないため教員数変更(22)
	森林科学概論	1後	2			7	6	4				オムニバス
	水士環境科学概論	1後	2			5	3	3				人事異動のため(24)
	基礎農学セミナー	1後	2			6	5	5			1	オムニバス
	基礎農学実習	1集中	2			6						教育内容見直しのため科目名称変更(22)
専門科目	食料生命環境学実験実習	2前	2			6						
	遺伝学	2前	2	2			1					教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	基礎土壌学	2前	2	2		2	1					教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	基礎生態学	2前	2	2		2	3	1				人事異動のため(25)
	情報処理演習Ⅰ	2後	2			1						兼1 教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	キャリア形成論	2集中	1	1								教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	農家体験実習	1集中	2			6	9	6				兼1 教育内容充実・見直しのため配当年次及び単位数変更、教員追加(22)
	雪山実習	2集中		2								兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)
	環境保全型エコ農業論	2集中	2	2								兼3 教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	教育方法・技術	2集中		2								兼1 教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)
	学外実習(インターンシップⅠ)	3集中		1		6						教育内容充実のため科目名・単位数・教員配置を変更(24)
	学外実習(インターンシップⅡ)	3集中		1		6						
	インターンシップ(学外実習)	3集中		2		1						
山形フィールド科学Ⅰ	1-2-3-4集中		2		3						教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)	
山形フィールド科学Ⅱ	1-2-3-4集中		2		3						教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)	
国際理解(海外研修)	1-2-3-4集中		2		1							

	公開森林実習	1・2・3・4集中		1						教育内容充実のため科目追加 (22)
	国際農業経済論	3後		2		1				教育内容充実のため科目追加 (23)
	Insensive Scientific Communication Courses in English	1・2・3・4集中		1		1				教育内容充実のため科目追加 (23)
	卒業論文	4通	10			31			27	人事異動のため(25)
						30			24	人事異動のため(24)
						32			22	人事異動のため(23)
									23	人事異動のため(23)
									7	
									-4	
									5	
									6	
コース必修科目	基礎食品生命科学 ☆	2前	2			1				
	基礎微生物学 ☆	2前	2			1				
	基礎分子生物学 ☆	2前	2					1		
	基礎生化学 ☆	2前	2			1				
	基礎動物生理学 ☆	2前	2			1		1		
	生命環境学 ☆	2前	2			1				
		2後								
	人体と健康科学 ☆	2前	2					1		教育内容見直しのため配当期変更(23)
	微生物生理機能学 ☆	2後	2					1		
	バイオマス資源学	2後	2			1				
	食品・応用生命科学実験-I	2後	2			5		6		
	食品衛生学 ☆	3前	2					2		
	食品・応用生命科学実験-II	3前	2			5		6		
	食品・応用生命科学専門外国語演習-I	3前	1			5		6		
	食品・応用生命科学実験-III	3後	2			5		6		
	食品・応用生命科学研究法演習-I	3後	2			5		6		
	食品・応用生命科学専門外国語演習-II	3後	1			5		6		
	情報処理演習-II	3後	2			5		6		
	食品・応用生命科学専門外国語演習-III	4前	1			5		6		
	食品・応用生命科学研究法演習-II	4前	2			5		6		
食品・応用生命科学専門外国語演習-IV	4後	1			5		6			
研究プレゼンテーション演習	4後	2			5		6			
専門科目 コース選択科目	地球環境論 ☆	2前		2		1				
	基礎有機化学 ☆	2前		2		1				
	応用統計学 ☆	2前		2				1		
	植物化学 ☆	2後		2		1				
	植物生理学 ☆	2後		2				1		
	食品微生物学 ☆	2後		2				1		
	農産物品質学 ☆	2後		2		1				
	生物有機化学 ☆	2後		2		1				
	基礎植物栄養学 ☆	2後		2		1		1		
	細胞生化学 ☆	2後		2		1		1		
	植物育種学 ☆	2後		2		1				
	生命バイオ分析化学 ☆	2後		2				1		
	動物分子生殖学	2後		2		1		1		
	ポストハーベスト学 ☆	3前		2		1				
	生理活性物質化学 ☆	3前		2		1				
	微生物機能開発学 ☆	3前		2				1		
	食品機能化学 ☆	3前		2		1		1		
	安全農畜産物生産論 ☆	3前		2		2		1		
	分子栄養学 ☆	3前		2				1		
	遺伝子タンパク質工学 ☆	3前		2				3		
動物発生工学	3前		2				1			
	3後									
	2後									
応用昆虫学 ☆	3後		2		1		1			
食品規格と安全 ☆	2集中		2		1					
										教育内容見直しのため配当年次 変更(23)
										教育内容見直しのため配当年次 変更(22)

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2									
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2									
		人間を考える	1前・後	2									
	文化と社会	哲学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)
		地域科学											
		倫理学	1前・後		2								
		芸術学	1前・後		2								
		文学	1前・後		2								
		言語学	1前・後		2								
		歴史学	1前・後		2								
		地理学	1前・後		2								
		文化論	1前・後		2								
		法学	1前・後		2								
		日本国憲法	1前・後		2								
		政治学	1前・後		2								
		経済学	1前・後		2								
		社会学	1前・後		2								
	心理学	1前・後		2									
	教育学	1前・後		2								教育上支障がないため教養科目から削除(23)	
	教養セミナー	1前・後		2									
自然と科学	数理科学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	物理学	1前・後		2									
	化学	1前・後		2									
	生物科学												
	生命科学	1前・後		2									
	地球環境学	1前・後		2									
	科学技術論	1前・後		2									教育上支障がないため教養科目から削除(23)
	教養セミナー	1前・後		2									
応用と学際	応用(応用科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	応用科学	1前・後		2									
	応用(情報科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	情報科学	1前・後		2									
	応用(生活科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	生活科学	1前・後		2									
	学際(他文化交流)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	多文化交流	1前・後		2									
	学際(芸術実技)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	芸術実技	1前・後		2									
	キャリア形成論	1前・後		2								教育上支障がないため教養科目から削除(23)	
	学際(学際・総合)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
学際・総合	1前・後		2										
教養セミナー	1前・後		2										
山形に学ぶ	地域学											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	山形に学ぶ	1前・後		2									
	教養セミナー	1前・後		2								教育内容充実のため科目追加(23)	
コミュニケーション・スキル1	英語C	1前・後	2										
	英語R	1前・後	2										
コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後		2									

(3) 未開講科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
4	教育学	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
5	科学技術論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
6	キャリア形成論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。
 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02 \quad 0.05}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 植物機能開発学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	農学入門	1前		2		2	1					教育内容充実のため教員追加(22)
	農学最前線	1前		2		1	1					兼15 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		2	1					兼3 オムニバス
	安全農産物生産学概論	1後	2			5						教育上支障がないため教員数変更(22)
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			6						オムニバス
	食品・応用生命科学概論	1後	2			8						人事異動のため(24)
	植物機能開発学概論	1後	2			9	6					オムニバス
	森林科学概論	1後	2			5						教育内容充実のため教員追加(22)
	水土環境科学概論	1後	2			1						兼1 オムニバス
	基礎農学セミナー	1後	2			7	5					人事異動のため(24)
	基礎農学実習	1集中	2			5	6					教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学実験実習	2前	2			4						オムニバス
	遺伝学	2前	2			7	6			1		人事異動のため(24)
	基礎土壌学	2前	2			3	5			1		オムニバス
	基礎生態学	2前	2	2		2						人事異動のため(24)
	情報処理演習-I	2後	2			1						オムニバス
	キャリア形成論	2集中	1	1		6						教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	農家体験実習	1集中	2			6	6					兼1 教育内容充実・見直しのため配当年次及び単位数変更、教員追加(22)
	雪山実習	2集中		1								兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)
環境保全型エコ農業論	2集中	2	2								兼3 教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)	
教育方法・技術	2集中		2								兼1 教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)	
学外実習(インターンシップ-I)	3集中		1		6						教育内容充実のため科目名・単位数・教員配置を変更(24)	
学外実習(インターンシップ-II)	3集中		1		6							
インターンシップ(学外実習)-	3集中		2		1							
山形フィールド科学-I	1-2-3-4集中		2		3						教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)	
山形フィールド科学-II	1-2-3-4集中		2		3						教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)	
国際理解(海外研修)	1-2-3-4集中		2		1							
公開森林実習	1-2-3-4集中		1								教育内容充実のため科目追加(22)	

	国際農業経済論	3後		2		1				教育内容充実のため科目追加 (23)
	Insensive Scientific Communication Courses in English	1:2-3:4集中		1		1				教育内容充実のため科目追加 (23)
								27	7	人事異動のため(25)
						31		24	-4	人事異動のため(24)
	卒業論文	4通	10			30		22	5	人事異動のため(23)
						32		23	6	人事異動のため(22)
コース必修科目	基礎有機化学 ☆	2前	2			1				
	応用統計学 ☆	2前	2				1			
	植物生理学 ☆	2後	2				1			教育内容見直しのため科目区分 をコース選択科目に変更(22)
	農産物品質学 ☆	2後	2			1				
	生物有機化学 ☆	2後	2			1				教育内容見直しのため科目区分 をコース選択科目に変更(22)
	基礎植物栄養学 ☆	2後	2			1	1			
	植物化学 ☆	2後	2			1				教育内容見直しのため科目区分 をコース選択科目に変更(22)
	植物育種学 ☆	2後	2			1				
	土壌生物資源学	2後	2			1				教育内容見直しのため科目区分 をコース選択科目に変更(22)
	微生物資源利用学	3前	2						1	教育内容見直しのため配当年次 変更(24)
	植物機能開発学コース実験-I	2後	2			3			1	
	科学英語リーディング	2後	2			5	3		1	
	生体活性物質化学 ☆	3前	2			1				教育内容見直しのため科目区分 をコース選択科目に変更(22)
	農産物生理学 ☆	3前	2			1				教育内容見直しのため科目区分 をコース選択科目に変更(22)
	在来植物資源学 ☆	3前	2				1			
	植物分子育種学	3前	2			1				教育内容見直しのため科目区分 をコース選択科目に変更(22)
	植物栄養生理化学	3前	2			1	1			教育内容見直しのため科目区分 をコース選択科目に変更(22)
	植物機能開発学コース実験-II	3前	2			2	2			
	植物機能開発学コース演習	3前	2			5	3		1	
	植物機能開発学コース実験-III	3後	2			5	3		1	
	植物機能開発学英語演習-I	3後	2			5	3		1	
	植物機能開発学研究立案展開演習	3前	2			5	3		1	教育内容見直しのため配当学期 変更(25)
植物機能開発学研究発表演習-I	4前	2			5	3		1		
植物機能開発学英語演習-II	4前	2			5	3		1		
植物機能開発学研究発表演習-II	4後	2			5	3		1		
植物機能開発学英語演習-III	4後	2			5	3		1		
基礎食品生命科学 ☆	2前		2		1					
基礎微生物学 ☆	2前		2		1					
基礎分子生物学 ☆	2前		2			1				
生命環境学 ☆	2前		2		1					
人体と健康科学 ☆	2後						1			教育内容充実・見直しのため配 当年次変更(23)
基礎生化学 ☆	2前		2		1					
基礎動物生理学 ☆	2前		2		1	1				
生命バイオ分析化学 ☆	2後		2			1				
食品微生物学 ☆	2後		2			1				
微生物生理機能学 ☆	2後		2			1				
細胞生化学 ☆	2後		2		1	1				

専 門 科 目	コ ー ス 選 択 科 目	植物生理学 ☆ ※	2後	2		1	教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)	
		生物有機化学 ☆ ※	2後	2		1	教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)	
		植物化学 ☆ ※	2後	2		1	教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)	
		土壌生物資源学 ※	2後	2		1	教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)	
		生理活性物質化学 ☆ ※	3前	2		1	教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)	
		農産物生理学 ☆ ※	3前	2		1	教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)	
		植物分子育種学 ※	3前	2		+	1	人事異動のため(25) 教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		植物栄養生理化学 ※	3前	2		1	1	教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		微生物機能開発学 ☆	3前	2			1	
		食品機能化学 ☆	3前	2		1	1	
		分子栄養学 ☆	3前	2			1	
		遺伝子タンパク質工学 ☆	3前	2			3	
		食品衛生学 ☆	3前	2			2	
		バイオインフォマティクス演習 ※	3前	2				兼1 教育内容見直しのため※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		科学英語コミュニケーション ※	3前	2				兼1 教育内容見直しのため※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		食品規格と安全 ☆	2集中 4集中	2		1		
		公衆衛生学 ☆	3集中 4集中	2			1	教育内容見直しのため配当年次変更(24)
		食品製造学 ☆	3集中 4集中	2		1		教育内容見直しのため配当年次変更(24)
		食品創製科学 ☆	3集中	2		1		教育内容見直しのため配当年次変更(24)
		放射線概論 ☆	4集中	2				兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)

☆印の科目は、他のコースと連携協力して開講する科目

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基 盤 教 育 科 目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2									
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2									
		人間を考える	1前・後	2									
	文化と社会	哲学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)
		地域科学											
		倫理学	1前・後		2								
		芸術学	1前・後		2								
		文学	1前・後		2								
		言語学	1前・後		2								
		歴史学	1前・後		2								
		地理学	1前・後		2								
		文化論	1前・後		2								
		法学	1前・後		2								
		日本国憲法	1前・後		2								
		政治学	1前・後		2								
		経済学	1前・後		2								
	社会学	1前・後		2									
	心理学	1前・後		2									
	教育学	1前・後		2								教育上支障がないため教養科目から削除(23)	
	教養セミナー	1前・後		2									
自然と科学	数理科学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	物理学	1前・後		2									
	化学	1前・後		2									
	生物科学												
	生命科学	1前・後		2									
	地球環境学	1前・後		2									
	科学技術論	1前・後		2									
	教養セミナー	1前・後		2									
応用と学際	応用(応用科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	応用科学	1前・後		2									
	応用(情報科学)												
	情報科学	1前・後		2									
	応用(生活科学)												
	生活科学	1前・後		2									
	学際(他文化交流)												
	多文化交流	1前・後		2									
	学際(芸術実技)												
	芸術実技	1前・後		2									
	キャリア形成論	1前・後		2									
	学際(学際・総合)												
学際・総合	1前・後		2										
教養セミナー	1前・後		2										
山形に学ぶ	地域学											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	山形に学ぶ	1前・後		2									
	教養セミナー	1前・後		2							教育内容充実のため科目追加(23)		
コミュニケーション・スキル1	英語C	1前・後	2										
	英語R	1前・後	2										
コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後		2									

(3) 未開講科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
4	教育学	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
5	科学技術論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
6	キャリア形成論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。
 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.02 0.05
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 森林科学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	農学入門	1前		2		2	1					教育内容充実のため教員追加(22)
	農学最前線	1前		2		1	1					兼15 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		2	1					兼3 オムニバス
	安全農産物生産学概論	1後	2			5						教育上支障がないため教員数変更(22)
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			6						オムニバス
	食品・応用生命科学概論	1後	2			8						人事異動のため(24)
	植物機能開発学概論	1後	2			9	6					オムニバス
	森林科学概論	1後	2			5						教育内容充実のため教員追加(22)
	水土環境科学概論	1後	2			1						兼1 オムニバス
	基礎農学セミナー	1後	2			7	5					人事異動のため(24)
	基礎農学実習	1集中	2			5	6					教育上支障がないため教員数変更(22)
専門科目	食料生命環境学実験実習	2前		2		6						オムニバス
	遺伝学	2前	2	2			1					人事異動のため(24)
	基礎土壌学	2前	2	2		2	1					教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	基礎生態学	2前	2			2	1					人事異動のため(25)
	情報処理演習Ⅰ	2後	2			3						教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	キャリア形成論	2集中	1			1						人事異動のため(25)
	農家体験実習	1集中	2			6						兼1 教育内容充実・見直しのため配当年次及び単位数変更、教員追加(22)
	雪山実習	2集中	1	2		9	6					兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)
	環境保全型エコ農業論	2集中	2	2								兼3 教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	教育方法・技術	2集中	2									兼1 教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)
	学外実習(インターンシップⅠ)	3集中	1			6						教育内容充実のため科目名・単位数・教員配置を変更(24)
	学外実習(インターンシップⅡ)	3集中	1			6						教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
	インターンシップ(学外実習)	3集中	2			1						教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
	山形フィールド科学Ⅰ	1-2-3-4集中	2			3						教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
	山形フィールド科学Ⅱ	1-2-3-4集中	2			3						教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
国際理解(海外研修)	1-2-3-4集中	2			1						教育内容充実のため科目追加(22)	
公開森林実習	1-2-3-4集中	1									教育内容充実のため科目追加(22)	

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤教育科目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2									
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2									
		人間を考える	1前・後	2									
	文化と社会	哲学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)
		地域科学											
		倫理学	1前・後		2								
		芸術学	1前・後		2								
		文学	1前・後		2								
		言語学	1前・後		2								
		歴史学	1前・後		2								
		地理学	1前・後		2								
		文化論	1前・後		2								
		法学	1前・後		2								
		日本国憲法	1前・後		2								
		政治学	1前・後		2								
		経済学	1前・後		2								
	社会学	1前・後		2									
	心理学	1前・後		2									
	教育学	1前・後		2								教育上支障がないため教養科目から削除(23)	
	教養セミナー	1前・後		2									
自然と科学	数理科学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	物理学	1前・後		2									
	化学	1前・後		2									
	生物科学												
	生命科学	1前・後		2									
	地球環境学	1前・後		2									
	科学技術論	1前・後		2									教育上支障がないため教養科目から削除(23)
教養セミナー	1前・後		2										
応用と学際	応用(応用科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	応用科学	1前・後		2									
	応用(情報科学)												
	情報科学	1前・後		2									
	応用(生活科学)												
	生活科学	1前・後		2									
	学際(他文化交流)												
	多文化交流	1前・後		2									
	学際(芸術実技)												
	芸術実技	1前・後		2									
	キャリア形成論	1前・後		2									教育上支障がないため教養科目から削除(23)
学際(学際・総合)													
学際・総合	1前・後		2										
教養セミナー	1前・後		2										
山形に学ぶ	地域学											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	山形に学ぶ	1前・後		2									
	教養セミナー	1前・後		2								教育内容充実のため科目追加(23)	
コミュニケーション・スキル1	英語C	1前・後	2										
	英語R	1前・後	2										
コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後		2									

(3) 未開講科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
4	教育学	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
5	科学技術論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
6	キャリア形成論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。
 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02 \quad 0.05}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 水土環境科学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	農学入門	1前		2		2	1					教育内容充実のため教員追加(22)
	農学最前線	1前		2		1	1					兼15 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		5	1					兼3 オムニバス
	安全農産物生産学概論	1後	2			6						教育上支障がないため教員数変更(22)
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			8						オムニバス
	食品・応用生命科学概論	1後	2			9	6					人事異動のため(24)
	植物機能開発学概論	1後	2			5						オムニバス
	森林科学概論	1後	2			4						教育内容充実のため教員追加(22)
	水土環境科学概論	1後	2			7	2					兼1 オムニバス
	基礎農学セミナー	1後	2			5	5					人事異動のため(24)
	基礎農学実習	1集中	2			5	6					教育上支障がないため教員数変更(22)
	基礎農学実習	1集中	2			4	6					オムニバス
専門科目	食料生命環境学実験実習	2前	2			5						人事異動のため(24)
	遺伝学	2前	2	2		3						オムニバス
	基礎土壌学	2前	2			7	6					人事異動のため(24)
	基礎生態学	2前	2			6	5					オムニバス
	情報処理演習-I	2後	2			1						人事異動のため(24)
	キャリア形成論	2集中	1	1		6						オムニバス
	農家体験実習	1集中	2			9	6					人事異動のため(24)
	雪山実習	2集中		2								兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)
	環境保全型エコ農業論	2集中	2	2								兼3 教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	教育方法・技術	2集中		2								兼1 教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)
	学外実習(インターンシップ-I)	3集中		1		6						兼1 教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	学外実習(インターンシップ-II)	3集中		1		6						兼1 教育内容充実・見直しのため配当年次及び単位数変更、教員追加(22)
	インターンシップ(学外実習)-	3集中		2		1						兼1 教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(23)
	山形フィールド科学-I	1-2-3-4集中		2		3						兼1 教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
	山形フィールド科学-II	1-2-3-4集中		2		3						兼1 教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
国際理解(海外研修)	1-2-3-4集中		2		1						兼1 教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)	
公開森林実習	1-2-3-4集中		1								兼1 教育内容充実のため科目追加(22)	

		2後								教育内容を見直し配当年度変更(24)	
	国際農業経済論	3後	2		1					教育内容充実のため科目追加(23)	
	Insensive Scientific Communication Courses in English	1:2-3-4集中	1		1					教育内容充実のため科目追加(23)	
						27			7	人事異動のため(25)	
					31	24			-4	人事異動のため(24)	
					30	22			5	人事異動のため(23)	
	卒業論文	4通	10		32	23			6	人事異動のため(23)	
専 門 科 目	コ ー ス 必 修 科 目	農村計画学 ☆	2前	2			1				
		地球環境論 ☆	2前	2		1					
		生物環境物理学 ☆	2前	2					1		
		水士環境科学論	2前	2		2	1				
		クリーンエネルギー利用論	2前	2		1					
		応用力学 ☆	2後	2		1					
		農業水理学	2後	2		1					
		河川環境調査論	2後	2		1					
		測量学-I	2後	2		1					
		農地工学	2後	2			1				
		水文学	2後	2					1		
		外国書講読演習	2後	2				1		2	
		水理学	3前	2		1					
		地盤工学	3前	2		1					
		水士環境実験実習	3前	2		3	1			3	
		ストックマネジメント論 ☆	3後	2							兼1
		プロジェクト実習	3後	2		3	1			3	
		水理学演習	3後	2		1				1	
		地盤工学演習	3後	2		1				1	
		GIS・リモートセンシング演習	3後	2				1			
研究プロセス演習	3後	2		3	1			3			
専 門 科 目	コ ー ス 選 択 科 目	環境保全型農業栽培学 ☆	2前		2		2				
		流域保全論 ☆	2前		2						兼1
		生物統計学 ☆	2前		2			1			
		畜産学 ☆	2前		2		1	1			
		食農環境経済学 ☆	2前		2		1				
		食農環境政策学 ☆	2前		2						兼1
		陸水環境論	2前		2						兼1
		生命バイオ分析化学 ☆	2後		2			1			
		水田作物学 ☆	2後		2		1				兼1
		環境社会論 ☆	2後		2			1			
		砂防工学 ☆	2後		2			1			
		安全農産物生産機械学 ☆	2後		2		1				
		森林生態学 ☆	2後		2			1			
		コミュニティビジネス論 ☆	3前		2			1			
		ポストハーベスト学 ☆	3前		2		1				
		地域活性化論 ☆	3前		2		1	2			
		食農環境会計学 ☆	3前		2			1			
		地域地理学 ☆	3前		2		1				
		食農環境地理学 ☆	3前		2		1				
		在来植物資源学 ☆	3前		2			1			
測量学-II	3前		2		1						
応用数学モデル演習	3前		2					1			
測量実習及び製図	3前		1					2			
畑作物学 ☆	3後		2		2						
自然環境解析論 ☆	3後		2		1						
地域防災論	3後		2		1						
流域保全実習 ☆	2集中		2						兼1		

	夏期実習（測量実習）	3集中	1							兼1
		4集中								
	水土環境特別講義	3集中	2							兼1

教育内容見直しのため配当年次
変更(24)

☆印の科目は、他のコースと連携協力して開講する科目

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤教育科目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2									
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2									
		人間を考える	1前・後	2									
	文化と社会	哲学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)
		地域科学											
		倫理学	1前・後		2								
		芸術学	1前・後		2								
		文学	1前・後		2								
		言語学	1前・後		2								
		歴史学	1前・後		2								
		地理学	1前・後		2								
		文化論	1前・後		2								
		法学	1前・後		2								
		日本国憲法	1前・後		2								
		政治学	1前・後		2								
		経済学	1前・後		2								
	社会学	1前・後		2									
	心理学	1前・後		2									
	教育学	1前・後		2								教育上支障がないため教養科目から削除(23)	
	教養セミナー	1前・後		2									
自然と科学	数理科学	1前・後		2								教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	物理学	1前・後		2									
	化学	1前・後		2									
	生物科学												
	生命科学	1前・後		2									
	地球環境学	1前・後		2									
	科学技術論	1前・後		2									教育上支障がないため教養科目から削除(23)
教養セミナー	1前・後		2										
応用と学際	応用(応用科学)											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	応用科学	1前・後		2									
	応用(情報科学)												
	情報科学	1前・後		2									
	応用(生活科学)												
	生活科学	1前・後		2									
	学際(他文化交流)												
	多文化交流	1前・後		2									
	学際(芸術実技)												
	芸術実技	1前・後		2									
	キャリア形成論	1前・後		2									教育上支障がないため教養科目から削除(23)
学際(学際・総合)													
学際・総合	1前・後		2										
教養セミナー	1前・後		2										
山形に学ぶ	地域学											教育内容見直しのため科目名称変更(23)	
	山形に学ぶ	1前・後		2									
	教養セミナー	1前・後		2								教育内容充実のため科目追加(23)	
コミュニケーション・スキル1	英語C	1前・後	2										
	英語R	1前・後	2										
コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後		2									

(3) 未開講科目 *該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
4	教育学	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
5	科学技術論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。
6	キャリア形成論	2	1前・後	一般	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（他の基盤教育科目で同様の教育効果を得ることができる）。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。
 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.02 0.05
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 ※該当なし

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m)	m ² (m)	m ² (m)	m ² (m)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成25年4月 専任教員1名を新規 採用のため(25)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山形大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部						1.03		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
人間文化学科	4	100		400	学士(文学)	1.07	平成8年度		
法経政策学科 (学部共通)	4	200	3年次20	800 40	学士 (法学, 経済学, 政策科学)	1.01	平成18年度		
地域教育文化学部						1.05		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
地域教育文化学科	4	240		480	学士(教育学) 学士(学術)	1.05	平成24年度		
地域教育学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
文化創造学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
生活総合学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
理学部						1.02		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
数理科学科	4	45		180	学士(理学)	1.05	平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.05	平成7年度		
物質生命化学科	4	45		180		1.00	平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.00	平成7年度		
地球環境学科	4	30		120		1.00	平成7年度		
医学部						1.00		山形県 山形市飯田西 二丁目2番2号	
医学科	6	125		730	学士(医学)	1.00	昭和48年度		平成22年度入学定員変更
看護学科	4	60	3年次5	250	学士(看護学)	1.02	平成5年度		平成22年度第3年次編入学定員変更
工学部 (昼間コース)						1.04		山形県 米沢市城南四丁目 3番16号	
機能高分子工学科	4	110		440	学士(工学)	1.05	平成12年度		平成22年度入学定員変更
物質化学工学科	4	75		300		1.03	平成12年度		平成22年度入学定員変更
バイオ化学工学科	4	60		240		1.03	平成22年度		
応用生命システム工学科	4	60		240		1.06	平成12年度		
情報科学科	4	75		300		1.06	平成12年度		平成22年度入学定員変更
電気電子工学科	4	75		300		1.04	平成12年度		平成22年度入学定員変更
機械システム工学科	4	115		460		1.03	平成2年度		平成22年度入学定員変更
(夜間主コース)									
システム創成工学科	4	50		200	学士(工学)	1.04	平成22年度		
物質化学工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
応用生命システム工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
情報科学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
電気電子工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
機械システム工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
農学部						1.04		山形県 鶴岡市若葉町1 番3号	
食料生命環境学科	4	155		620	学士(農学)	1.04	平成22年度		
生物生産学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
生物資源学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
生物環境学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）について，それぞれの学校種ごとに，平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際，AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。
（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<農学部 食料生命環境学科>

(1) 担当教員表 ※該当なし

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成22年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (〇〇)	平成23年4月	国際経済学	平成23年3月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23) 平成23年7月 A C教員審査済(24)
					兼任	講師	◇◇◇ (〇〇)	平成23年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成23年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成23年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (23)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成24年10月	金 融 論			後任未定			平成24年10月 □□□□准教授就任辞退(25) 「後任未定」平成25年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成25年4月	〇〇〇〇論	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
32	23	0	6	61	31	27	0	7	65	65	0
(30)	(22)	0	(5)	(57)	[△1]	[4]	[0]	[1]	[4]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 ※該当なし

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 ※該当なし

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

※該当なし

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<農学部 食料生命環境学科>

(1) 設置計画変更事項等 ※該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む) ※該当なし

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
 ・ 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 ※該当なし

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成25年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成25年10月 1日)